

人事給与システム・人事庶務システムの更新、運用及び保守業務委託事業委託提案要求仕様書等に対する質問回答

令和5年7月5日

番号	質問事項	資料名（該当箇所）	質問内容	回答
1	貴区仮想化基盤のゲストOSについて	提案要求仕様書 別紙4 内部情報系仮想化基盤への業務システム構築について (2ページ 26行目)	本システムを構築するOSはWindowsServer2022となりますが、貴区にてライセンス提供は可能でしょうか。また、文書作成用パソコン用のWindowsServer2022のCALも貴区にて準備していただくことは可能でしょうか。	現在、区が管理している内部情報系仮想化基盤は、WindowsServer2022に対応していません。WindowsServer2019であればライセンス提供は可能です。この取扱いについては、文書作成用パソコンについても同じです。
2	他システム連携について	別紙8 他システム連携要件対応表	他システムとの連携において、今回調達の人事給与システム、人事庶務システム間の連携以外の他システム連携については、既存の連携フォーマットに合わせて連携すると考えてよろしいでしょうか。	ご認識いただいているとおりで問題ありません。ただし、今後、連携する他システムの仕様変更に伴い、連携データのフォーマットが変更された場合、人事給与システムや人事庶務システムにおいて改修の必要が生じてしまう可能性はあります。
3	職員研修について	人事給与システム・人事庶務システムの更新、運用及び保守業務委託 提案要求仕様書 (25ページ 1行目)	「システム管理者45人程度」のシステム管理者様についてご教示ください。 仕様書10ページに記載の業務担当者45名とシステム管理者15名から構成されていますでしょうか。 加えて、研修の対象となるシステムは、人事給与システムあるいは人事庶務システムどちらになりますか。	「システム管理者45人程度」とは区の人事課に所属する職員30名と教育人事企画課に所属する職員15名で構成されています。 研修の対象となるシステムは人事給与システム及び人事庶務システムを想定しています。